

Suhr, Christoph

Hamburgische Trachten.

[Hamburg], [s. n.], 1812. 1vol. 36 plates (copper hand-col.). 38×24cm. <K383.134-S> 文献番号 5-30

Hiler p. 823 Colas 2831-2832

シュール, クリストファ 『ハンプルグの服飾』

本書はベルリン王立芸術アカデミーの教授, C. Suhr によって描き, 彫られた『ハンプルグの服飾』の題名をもった作品で, 1812年にドイツのハンプルグで刊行された職業服の手彩色銅版画の稀観本である。本館には1838年の複製版(1908年刊)もある。

著者, クリストファ・シュール (Christoph Suhr) は1771年にハンプルグで生まれ, 1842年同所で亡くなった。画家, 素描画家, 石版画家, 銅版画家である彼は, 三兄弟の長兄で, 次男コルネリウス (Cornelius, 1781-1857) は画家, 銅版画家, 石版画家, 三男ペーター (Peter, 1788-1857) は水彩画家, 石版画家, 銅版画家であった。

本書については1908年刊(1838年の複製版)の序文で, ヘクシェール (J. Heckscher) 博士が概説し, 文化史の分野として信頼できる服装学書であり, リッパーハイデ男爵の服飾図書館の文献目録からだけでも推測されるようにほとんど見落とされることのない文献である。著者は図版を完全なものにするまでに6年の長い年月を必要とし, 1801年から始めて, 全体を完成したのは1806年であった。最初の図集は1806年にも出版されたようだが, (博士が) 目にした最初の表題紙は1808年からである。

本書は決められた個人を描写しているのではなく, 小間使い, 小さな女の子, 料理人など職業をもつ人々を取り上げている。全ての版の図版8~36は同一である。このことは本館蔵の1812年刊と1838年刊(1908年複製)の図版を比較してみても同様で, 1812年刊の全図版はプレート外の下之余白に点字印刷でC. Suhrが押印されている。最後の著名な版である1838年刊の表紙は独語, 仏語, 英語の3ヶ国語で印刷されている。

本館蔵の2冊の図版を比較してみると, 図版の8から36図までは同じであるが, なかには手彩色のため, スカーフ, ベスト, 靴下などの色や柄の違いがみられる。1812年刊は38図まで収められているが, 11図と38図がだぶっている。1838年刊は50図まで収められている。1812年刊の1図と1838年刊の40図, 4図と43図, 5図と44図, 6図と45図, 37図と4図が同じ図版である。1812年刊の2, 3, 7図と1838年刊の1~3, 5~7, 37~39, 42, 46~50図が異なった図版である。

1812年刊にはそれぞれの図版のキャプションが独語, 仏語で, 1838年刊は独語, 仏語, 英語の一覧が載っていて, そこには当時の人々の服装, 生活, 職業を伺い知ることができる。1~8図は, 小間使いたちが描かれ, ハンカチーフで覆われたバスケットを運ぶ人々は料理人であり, 他の人々は女中たちである。9~12図は, フィーアランデ(ドイツ北部)地

方、エルベ川ほとりの4つの村々の住民たちで彼らはハンブルグとリュエックの法律によって交互に統治されていた。花売り娘と呼ばれる女性のお下げにした髪からぶらさがっている長いリボンは未婚だということを表している。13図はハンブルグ近郊、エルベ川のひとつの島の住民である牛乳屋。14図はリュエックに属する小さな町、バルドヴィックの女性。この場所での主な栽培は人参、玉葱、ラベンダーなどである。15図は砂糖の試供品を持った男性が、箱や樽から砂糖を取り出し、砂糖商人たちに見せている。16と33図は砂糖精製業者。17図は空の樽を家に運んでいるビール醸造業者の少年。18図は手押車で貯蔵庫へ商品運んでいる荷物運搬人。19図は荷車のようなものに乗せて公の起重機から商品を取ってきたり、運んだりする法人の特権を持った荷物運搬人。20図は注文をした人々の家々へ荷車に乗せてビールを樽で運んでいる男性。このように雇われた者は特権を持たなければならなかったし、特権に対していくらかの額が支払われる。21図はハンブルグ内のエルベ川の島出身の野菜を持った女性。22図はハンブルグと反対側のエルベ川のハノーファ岸に位置する古い土地の果物を持った女性（下図）。23図は法人のひとつで、葬式にスペイン・ラフを着る特権を持っている人々。24図は聖歌隊員と生徒たちが聖歌を歌いながら通りを歩き、学校や敬虔な目的のためにお金を集めている。25と26図は異なる衣服を着た役人たち。25図は葬列に臨むスペイン衣装の人々。26図は上院の護衛者の任務に着用する象徴的な服装の人々。これらの役人たちは法人を形成したり、用地を買収したりする。27図は腰掛け式荷馬車。28図は頭に^{かしら}連れられた孤児たちの毎年恒例の行進。29図はハンブルグ近郊エルベ川沿いホルスタイン村のブランケネーゼの漁師。30図は北海に注ぐエルベ川の河口に位置しているヘルゴランド島の住民。31図はハンブルグの女漁師。32図はエルベ川支流のストエル川沿いのホルスタイン村の住民で、祭りなどにハンブルグへ生姜入り菓子パンや恋人結びの形に作ったビスケットを持ってくる。34図はホルスタインの小さな市場の町、エルムショーンの船主たち。35図はハンブルグ水門内湾、アルスター川の水上市集。36図は（冬の）エルベ川の大型そり。37図はルーテル派の伝道師。38図は市長の使用人。39図はハンブルグの古代と近代。40図は使用人のお手伝い。41図は子守女。42～44, 47, 50図は使用人のお手伝い。45, 49図は料理人。46, 48図はお針子。（佐藤）

